

やまなし文化NOW

第2号

山梨県教育委員会発行

平成25年6月

みなさん、こんにちは！
いよいよ待ちに待った夏休みが近づいてきましたね。

「やまなし文化NOW」第2号は夏休み特集です。そろそろ休み中の目標や計画を立てている方も多いと思いますが、今年は県立文化施設に足を運ばれてはいかがでしょうか。

祝

富士山世界文化遺産登録

日本の宝から世界の宝へ。
平成二十五年六月二十二日、カンボジアで開催された世界遺産委員会において、待ちに待った富士山の世界文化遺産登録が決定しました。



本栖湖から富士山

「芸術(げいじゆつ)の源泉(げんせん)」、「信仰(しんこう)の対象(たいしょう)」である名山(めいざん) 富士山を次の世代(せだい)へつなげていくため、環境の

保全や来てくれた方へのおもてなしなど、地元の方だけでなく県民全員で進めていきたいものですね。

富士の国やまなし国文祭「夏のステージ」スタート！

第二十八回国民文化祭・やまなし2013(愛称 富士の国やまなし国文祭)が、県内で行なわれています。皆さんはもう参加しましたか？

「文化の風とあそぶ」みつめる・こえる・つなげる」をテーマに、一月十二日に幕を開けた国文祭は、冬のステージ、春のステージを経て、いよいよ夏のステージに突入します。

六月三十日(日)には、「山河、きらめく。」をキャッチフレーズに、河口湖ステラシアター(富士河口湖町船津(ふなつ))でのオープニングパフォーマンスで幕を開け、富士山お道開き(みちひらき)の中継やサマーカーニバルなどが実施されます。

七月六日(土)には、富士五湖文化センター(富士吉田市緑ヶ丘)で、「富士山の魅力」日本文化の象徴として「富士山」をテーマに、アルピニストの野口健(のぐちけん)さんや作家のC・W・ニコルさんをゲストに迎え、やまなし発見フォーラムが開催されます。

夏のステージで富士山や高原の文化に触れてください。富士北麓(ほくら)地域以外の市町村でも国文祭の



富士の国やまなし国文祭 マスコットキャラクター カルチャくん

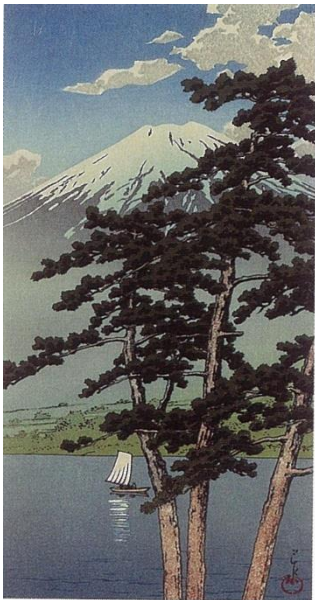
イベントがたくさん行なわれます。県内の多くの博物館や美術館でも、記念展示が行なわれます。

美術館の富士 富士と山紫水明

県立美術館(甲府市貢川(くがわ))では、国文祭の夏のステージ「山河きらめく。」のテーマにあわせ、富士山をはじめとする山や川、田園(でんえん)など日本の風景を描いた作品を展示しています。

画家にとつて富士山は、あまりに美しく、昔から数え切れないほど描き続かれてきたため、強いイメージができてあがつており、とても難しい課題です。それでも多くの画家達が、この難しい課題に挑戦してきました。

幕末の山水画(さんすいが)や、明治初期の洋画(ようが)、現代美術まで、空の広さや山の高さ、森のみどりなどを感じていただけます。



川瀬巴水(河河口湖)

常設展「富士と山紫水明(さんしすいめい)」やまなみ、水辺、田畑(そして)富士山、美しき日本の風景」は、九月十六日(月・祝)までです。

体感！実感！原始・古代やまなし 日本一の富士山展

県立考古博物館(甲府市下曾根町(しもそねちよう))では、日本一の富士山をテーマとした展示会を開催します。

昔から人々は、富士山を火山としての荒々しさやその美しい姿から、神(かみ)が宿(やど)る山として敬(うやま)い、特別の思いを持ってきました。富士山は日本人の心のよりどころとなっています。



河口浅間神社と富士山

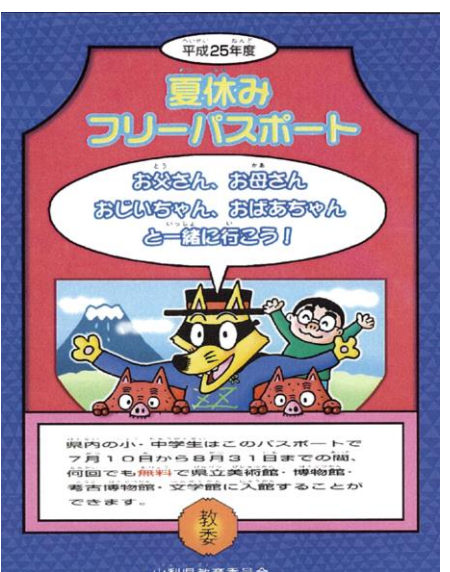
さまざまな出土品をとおして、日常の風景にある山としてだけでなく、人々の信仰(しんこう)の対象(たいしょう)とされてきた富士山の姿を探ります。

夏季企画展「日本一の富士山」展は、七月十二日(金)まではプレ展示を行なっており、七月十三日(土)から九月一日(日)まで開催します。

また、夏休み期間中は、勾玉(まがたま)作りやトンボ玉作り、火起こし体験、拓本(たくほん)体験など、さまざまなイベントを開催予定です。見るだけでなく、実際に体験して考古学に親しんでみませんか。



今年も夏休みフリーパスポートを発行します！



©原ゆたか/ポプラ社

山梨県教育委員会では、平成十九年度から県内の小中学生を対象に夏休みフリーパスポートを発行しています。七月十日(水)から八月三十一日(土)まで、県立美術館・県立博物館・県立考古博物館・県立文学館の4館では、夏休みフリーパスポートを持参した小中学生は、何回でも無料で常設展や企画展を見ることが出来ます。

今年のパスポートは皆さんに大人気の「かいつゾロリ」です。学校を通じて、七月九日(火)までにお手元にお届けします。

この新聞でも一部を紹介していますが、各館とも魅力的な展示やイベントをたくさん用意してお待ちしています。なお、イベントの多くは事前の申込が必要で人数制限等がありますので、事前に各館ホームページ、ちらし等でご確認ください。

このパスポートは、県立科学館では使用できませんのでご注意ください。

アイメッセ山梨に博物館・美術館が集合 夏休み自由研究プロジェクト

夏休みと言えば「自由研究」。でも、何を調べたいの？どうやって調べたいの？調べ方や調べる内容が思いつかない子どもたちも多いことでしょう。

そこでご利用いただきたいのが博物館施設です。

県内には美術、歴史、科学、自然などさまざまな博物館施設があります。展示を見ながらテーマを考えたり、図書室で調べることができます。一度に多くの博物館施設の内容を知りたい時には、「夏休み自由研究プロジェクト」がおすすりめです。県内の博物館施設が集合し、自由研究や工作のヒントを提供します。

県内博物館施設の合同プレゼンは、**七月十五日(月)海の日にアイメッセ山梨(甲府市大津町)で開催**します。



(合同プレゼン昨年の様子)

夏休みは文学館へGO!
あそぶぜ! かいけつゾロリの
おたのしみ大きくせん

この夏、県立文学館(甲府市貢川(くがわ))にかいけつゾロリがやってきます。原ゆたかの児童書「かいけつゾロリ」は、子どもたちに大人気のシリーズです。

ゾロリのひみつをさぐったり、ゾロリしんぶんのへんしゅうちようになつて自分だけのしんぶんをつくるなど、展示室はゾロリでいっぱいです。みんな遊びにきてください。



特設展「あそぶぜ! かいけつゾロリのおたのしみ大きくせん」原ゆたかとゾロリのなかまたち」は、七月二十日(土)から八月二十五日(日)までです。

原京子絵本原画展も同時開催します。七月二十日(土)二十一日(日)、八月十一日(日)には、原ゆたか先生と原京子先生のサイン会を開催します。事前の申込が必要です。

この夏、科学館から「キモダメシ」ブームが巻き起こる
科学館のキモダメシ

県立科学館(甲府市愛宕町(あたごちよう))では、七月二十日(土)〜八月二十五日(日)まで、夏期企画展「科学館のキモダメシ」この体験は夢に出る」を開催します。

あたごの森に昔からあるという怪しげな洋館を舞台に、執事(しつじ)から渡される不思議な懐中電灯を持ち、『キモダメシ』に挑戦します。会場には、科学館ならではの科学技術や最新映像を使った、さまざまな恐ろしい仕掛けが待ち受けています。

©原ゆたか/ポプラ社

皆さんは次々に現れる不思議な現象に立ち向かい、無事にキモダメシから帰ってくる事ができるでしょうか。



調べ物は図書館で! **県立図書館**

学校の夏休みの自由研究・工作などで、調べたい時には図書館が最適! 図書館にある資料を使う前に、何か手を付けてどうやって調べていくか相談できる窓口を期間限定で設置します。理科、社会、国語などの窓口において皆さんの相談を受け付けます。資料の使い方や調べ物のまとめ方は司書が説明します。その後、家の近くの図書館などで、実際に資料を使って調べてみてください。

開催は七月二十五日(木)と二十六

夏休み 自由研究・工作 おたすけ教室

日時 7月25日(木)、26日(金)
午前部 10:00~12:00 午後部 13:00~15:30
場所 山梨県立図書館 交流ルーム 101, 102

相談できる分野

- 理科(電磁) 三葉新書センターの図解資料が豊富です。
- 理科(化学) 理科の先生にアドバイスをもらおう!
- 理科(生物) 図解の先生にアドバイスをもらおう!
- 理科(物理) 図解の先生にアドバイスをもらおう!
- 理科(地学) 図解の先生にアドバイスをもらおう!
- 理科(環境) 図解の先生にアドバイスをもらおう!
- 理科(社会) 図解の先生にアドバイスをもらおう!
- 理科(国語) 図解の先生にアドバイスをもらおう!
- 理科(英語) 図解の先生にアドバイスをもらおう!
- 理科(算数) 図解の先生にアドバイスをもらおう!
- 理科(数学) 図解の先生にアドバイスをもらおう!
- 理科(音楽) 図解の先生にアドバイスをもらおう!
- 理科(美術) 図解の先生にアドバイスをもらおう!
- 理科(体育) 図解の先生にアドバイスをもらおう!
- 理科(生活) 図解の先生にアドバイスをもらおう!
- 理科(その他) 図解の先生にアドバイスをもらおう!

対象年齢 小学校3年生から 小学校6年生まで

主催 山梨県立図書館

日(金)の午前十時から午後三時半まで。それぞれの分野の窓口へ行ってください。何かヒントがもらえるはずですよ。申込は必要ありません。

近代自然主義絵画の成立
オランダ ハーグ派展
バルビゾンへの憧れ、ゴッホの原点



ヤン・ヘンドリック・ヴァイセンブルフ「ハールレムの風景」ハーグ市立美術館蔵
Collection Gemeentemuseum Den Haag, The Hague, The Netherlands

県立美術館(甲府市貢川(くがわ))は、ミレーとバルビゾン派の作品をたくさん収蔵(しゅうぞう)していることで全国的に有名です。

十九世紀、オランダのハーグに画家たちが集まり、「ハーグ派」と呼ばれました。彼らは近郊の田園や北海沿岸、農村の風景、農民の慎(つつ)ましい生活を清新(せいしん)な表現でとらえました。

ハーグ派は、オランダ絵画の伝統とともに、フランスのバルビゾン派の影響を受けていると指摘されています。県立美術館では、この夏、約七十点の作品により、日本で初めて「ハーグ派」を紹介する展覧会を開催します。ハーグ派は、ゴッホとも深いつながりを持っており、**本展覧会ではゴッホの作品も展示する予定です。**

開催期間は、七月十三日(土)から八月二十五日(日)までです。博物館で山梨の歴史を知ろう
山梨の近代人物と鉄道展

明治三十六年(一九〇三)六月十一日に東西の大動脈(だいでうみやく)中央線が甲府まで開通してから今年で百年を迎えました。このことを記念し、県立博物館(笛吹市御坂町成田(みさかちようなりた))では、山梨を走り抜ける中央線のあゆみや日本の鉄道発展に貢献(こうけん)した山梨の人々を紹介する展示会を開催します。

当時日本最長の笹子(ささこ)トンネル工事からリニア中央新幹線まで、山梨や日本における地域間交流や流通の発展に果たした鉄道の役割とその未来について、様々な角度から感じていただきます。

鉄道模型や実際に試乗できるミニ鉄道等も展示します。

企画展「山梨の近代人物と鉄道」展は、七月二十日(土)から九月二日(月)までです。



本通信問合先: 山梨県教育委員会学術文化財課企画担当
電話: 055-223-1790 メールアドレス: gakuju@pref.yamanashi.lg.jp